

豊かな森を 美しい海を いつまでも大切な自然環境を守りたい

新たに動き出した2つの取り組みを紹介します

美国・美しい海づくりフォーラム開催

美しい海の魅力をあなたも体験してみませんか

【日時】 7月13日(日)

【会場】 積丹町総合文化センター ほか

【対象】 漁業者、ダイバー、海が好きな方ならどなたでも

【定員】 第1部 40人・第2部 100人

【内容】

◆第1部(午前10時～正午) 体験プログラム

- 漁船に乗って海へ行ってみよう!
漁師さんのお話を聞きながら、美国の海を体感します。
- 海辺の生き物観察会

◆第2部(午後1時～午後3時) 講演会

- 豊かな海づくりへのチャレンジ
 - ・ 豊かな海・藻場、磯焼けの現状と対策
(東京海洋大学 藤田先生)
 - ・ 美国の漁場、今・昔(地元漁業者 神会長)
 - ・ ダイバーが見た美国の海
(水中カメラマン 西沢邦昭氏)
 - ・ 美国のチャレンジ(東海大学 津村先生)

● ディスカッション

- 海のクラフト無料体験コーナー
(ストーンペイントと貝殻・流木クラフト)

コーディネーター:野谷悦子(フリーライター、ほっかいどう海の学校)

【申込】 体験プログラムは事前申し込みが必要
講演会は自由参加

【申込み・問い合わせ先】

美国・美しい海づくり協議会事務局(担当:大塚・丸山)
TEL 011-621-1240 FAX 011-621-1340

主催:美国・美しい海づくり協議会

協力:積丹町、東しゃこたん漁業協同組合、東海大学、
ほっかいどう海の学校

後援:水産庁、(社)全国豊かな海づくり推進協会、
(独)水産総合研究センター水産工学研究所

森・海HUGくみたい は

楽しい活動がいっぱい

自然環境について一緒に考えてみませんか

第1回目となる森・海HUGくみたい「森を育てよう!親しもう!」と題した活動が6月6日に行われました。

余別小学校児童7人と教職員、漁協青年部・女性部、町職員など計26人が参加したこの日は、余別町げんきの森で、平成17年に漁協青年部が植樹したエゾヤマザクラ、カエデなどの幼木の下草刈りを実施する予定でしたが、小雨の降るあいにくの天候により、下草刈りは漁協青年部のみでの実施となりました。

児童らは余別小学校に会場を

移して、後志森づくりセンター職員を講師に、樹種についてや森林クイズなどにより森林についての知識を深める学習を行いました。

最後に、空を飛び種を大きくした模型を作り、完成品を参加者全員で飛ばして楽しみました。

今後も、エゾノコリンゴ・栗などの植樹やげんきの森の遊歩道整備、秋の味覚さがしなど楽しい取り組みをたくさん予定しており、活動には余別地域の方々はどなたでも参加することができます。



地域の皆さんで、自然環境について一緒に考えてみませんか。

「美国・美しい海づくり協議会」って何?

東しゃこたん漁業協同組合美国支所管内の漁業関係者や当町に拠点を置くダイバー、東海大学、行政機関などで構成。会長は神哲治同漁協副組合長。産学官が連携しながら、密漁監視や磯焼け対策、一般の方を対象とした漁業・自然体験プログラムの開催など漁業の持続的発展のため同協議会が中心となって、水産動植物の成育環境保全、水産資源の適切な保存管理などを包括的に実施します。

「森・海HUGくみたい」って何?

余別町のふれあいの森からサクラマスサンクチュアリーセンター周辺の「げんきの森」を活動拠点に、同地区の町内会、老人クラブ、小学校、漁協、婦人会などさまざまな地域団体や町、さらには毎年地域行事等に参加するなど以前から交流のある北海道大学などで構成。会長は角田拓也東しゃこたん漁業協同組合積丹支所青年部長。産学官が連携して恵まれた地域環境を活用し、植樹・育樹活動などを実施、子どもから大人まで森・川・海の関連性を学び自然環境への理解と意識の向上を図るとともに、世代を越えた交流で地域の活性化を目指します。